

2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 14 日

1. 職名・氏名 准教授・加藤まどか

2. 学位 学位 修士、専門分野 社会学、授与機関 東京大学、授与年 1994 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代家族論（前期）（2 単位）1 年生以上	
②内容・ねらい 現代日本の家族の変化を、歴史的な流れにおいてとらえ、また諸外国での家族の変化の動向のなかでとらえる。家族が変化するなかで、子育てや高齢者介護においてどのような問題が生じているのか解説する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 前期の授業は対面で行い、空欄を設けた資料を配布して、受講者が重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深められるように工夫した。回によっては、動画を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見や感想等を Google フォームに投稿してもらい、次の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 現代家族論（後期）（2 単位）1 年生以上	
②内容・ねらい 現代日本の家族の変化を、歴史的な流れにおいてとらえ、また諸外国での家族の変化の動向のなかでとらえる。家族が変化するなかで、子育てや高齢者介護においてどのような問題が生じているのか解説する。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 後期の授業は遠隔・ハイフレックスで実施した。永平寺キャンパスの学生（約 150 名）は対面で受講するように指示し、他キャンパスの学生（約 50 名）に対して zoom リアルタイムで配信をした。対面で受講する学生には印刷した資料を配布し、GC には同じ資料を事前に掲載し、zoom で受講する学生も資料を見ることができるようにした。zoom で資料を画面共有し、教室ではパソコンの画面をスクリーンに映して、空欄の言葉を書き込みながら、解説を進めていった。グラフや表、画像や新聞記事なども、適宜、画面共有して理解しやすいように工夫した。動画の視聴は、zoom 上では難しかったため、遠隔での受講者には、GC に掲載したリンクに各自でアクセスして視聴してもらうようにした。毎回授業の最後には、授業内容に関わる課題を出し、受講者が回答を Google フォームで投稿するようにした。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ジェンダー論（前期、後期）（2 単位） 1 年生以上	
②内容・ねらい 家庭や学校、職場や地域において、性別にもとづいた秩序がどのように形成され、現在どのような形で存在しているのかについて説明する。性別にもとづいた秩序がどのように維持されているのか、またそれを変えていこうとする試みについて紹介する。	

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業は対面で行い、空欄を設けた資料を配布し、受講者が重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深められるように工夫した。回によっては、動画や DVD を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見や感想等を Google フォームに投稿してもらい、次の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会学（前期、後期）（2 単位） 1 年生以上
②内容・ねらい 現代日本社会において、学校で教育を受ける、職場で働く、人と支え合う、食物をとって生きる等の局面で、私たちがかわる可能性がある様々な問題を取り上げ、その背景について考察する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業は対面で行ない、空欄を設けた資料を配布し、受講者が、重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で実施した。資料には、グラフや新聞記事などを取り入れ、理解しやすいように工夫した。回によっては、DVD を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回、受講後には、授業内容への意見や感想等を Google フォームに投稿してもらい、次の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 導入ゼミ（前期、2 クラス）（1 単位） 1 年生
②内容・ねらい ケアという概念、ケアとジェンダーとの関係、ケアの危機など、現代社会におけるケアに関わる問題について理解を深める。テーマの設定法、資料の集め方、文献の読み方等について学ぶ。レポートの作成手順を理解し、アウトラインの考え方、引用のやり方、参考文献の書き方などの基本事項を学ぶ。パワーポイントで資料を作って報告し、ディスカッションをするやり方について学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 まず初めに共通テーマとしてのケアに関わる問題について解説した。読みやすい入門書を全員で読み、グループワークで意見を言い合い、全体で話をして理解を深められるようにした。その後は、各自が、関心のあるテーマについて資料を集め、主題を絞り込み、問いを展開し、目標規定文をまとめ、文献ノートを作成し、アウトラインを考えて仮の目次を作成する等の課題を順に行い、報告やレポートをまとめていけるように授業を進めた。それぞれのテーマの報告の際には、参加者が意見を述べやすいようにし、参加者と報告者とで応答ができるように配慮した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 教養ゼミ（後期、2 クラス）（1 単位） 1 年生
②内容・ねらい 子どもの放課後をめぐむ状況、子どもの権利、放課後児童クラブの現状と課題等について理解を深める。自分の関心のあるテーマについて、資料を集め、文献を読み、考察し報告する方法について学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度の前半は子どもの権利条約と子どもの権利、児童養護施設や里親等での社会的養育、児童虐待、放課後児童クラブ等について、資料をもとに解説をした。また子どもの発達や子どもへの支援について学ぶために、放課後児童クラブに伺って子どもとの活動を実施した。活動後の振り返りでは、支援員や自分自身の子どもとの関わりについて、また子どもたちの様子について、様々な気づきがあったことが報告された。また子どもたちが上手に遊べるように工夫する過程で、大学生の参加者同士のコミュニケーションが深まる良い機会になったという感想も寄せられた。後半は、それぞれが関心のあるテーマについて報告し、報告後に、皆で質問をしたり、意見を言い合ったりして学びを深めた。授業終了後には、それぞれの報告へのコメン

トを Google フォームに投稿してもらい、次回の授業時までに全員のコメントを G C に掲載して
振り返ることができるようにした。 [フィールドワーク等 1 件]

(2)その他の教育活動

内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等 1.「ケアと仕事の両立」、2025 年度地域公共政策学会秋季大会（2025 年 10 月 4 日）、共同報告者・無し	【 1 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等 日本学童保育学会編集委員会委員（日本学童保育学会）	

5. 地域・社会貢献活動

①-2 委員就任(県)

- ・福井県人権施策推進審議会委員（委員長 R6.8～）、人権施策の推進のための基本方針の調査審議および人権施策の実施状況に関する調査審議、H16～現在に至る
- ・福井県公害審査会委員、公害に係る紛争についての斡旋・調停・仲裁、H19～現在に至る
- ・福井県社会福祉審議会委員、社会福祉に関する事項の調査・審議、H22.4～現在に至る
- ・福井県私立学校審議会委員、私立学校・私立専修学校・私立各種学校に関する重要事項について知事に建議、R1.12～現在に至る
- ・福井県防災会議委員、福井県地域防災計画等の審議、R4.6～現在に至る
- ・「社員ファーストアワード」検討会委員、表彰に係る選考基準の検討や助言等、R5.8～現在に至る

①-3 委員就任(市町村)

- ・福井市男女共同参画審議会委員、基本計画及び男女共同参画の推進に関する重要事項についての調査・審議、H22～現在に至る

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

論集編集委員会 R5.4～現在に至る

ハラスメント等人権問題に関する委員会・相談員 R3.4～現在に至る

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など